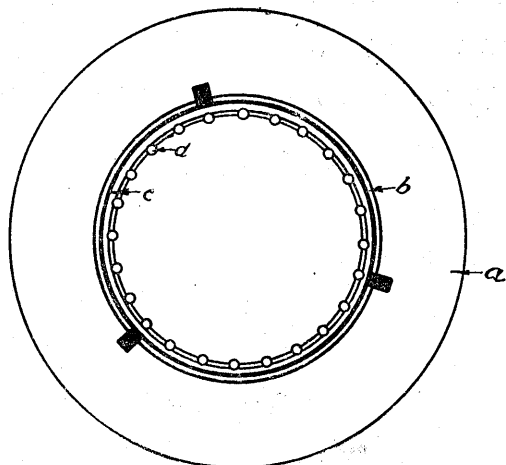


することが出来る。此の際は(k)及(m)は單に該接觸を動かせるための運動傳達装置として作用する。 (m) と連結して居る接觸板(t)は圓筒狀部(u)で支へられ接觸片(v)と接する。 (k) の横の運動に際し接觸板(t)は傾斜運動をして接觸片(v)から離れる。此接觸は又(k)の垂直運動に際して(m)が上げられる時も亦開かれるのである。(日本特許第六〇一八九號)

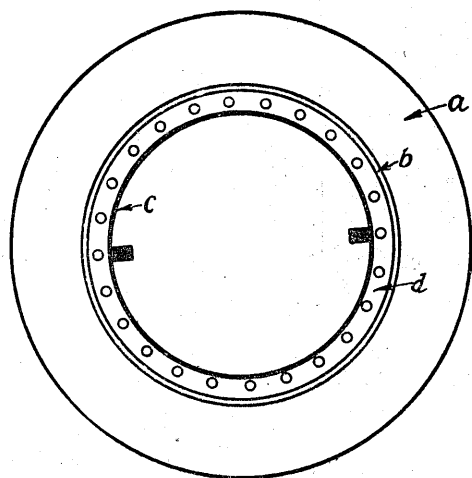
整流子電機の改良

此處に述べやうとするのは正常の動作範圍に於て比較的低周波數を有する固定子給電の多相交流電機の整流作用を良くする目的で回轉子内に整流子捲線に密接して配置せられ整流子捲線と誘導的に聯絡せられた籠型捲線を施す装置についてである。整流子捲線と籠型捲線とを上記述べた様に密接に誘導聯絡をする時は整流に際して短絡された各線輪内の磁界の變化を抑止するから有害な整流電壓を生ずることがない。故に此處に述べる装置は簡単な點に於て抵抗挿入若くは補助極の様な他の手段(之等は此處に述べる装置とともに用ひても差支ない)に優つた手段で整流を極めて良好ならしめることが出来る。



第一圖

籠型捲線には種々の捲方がある。圖に示したのは其の二つの例に過ぎない。圖中(a)は交流電機の固定子であつて(b)は空氣間隙(c)は整流子に接續した捲線である。 (d) は籠型捲線で第一圖では整流子捲線に包まれ第二圖では之れを包圍した場合を示す。



第二圖

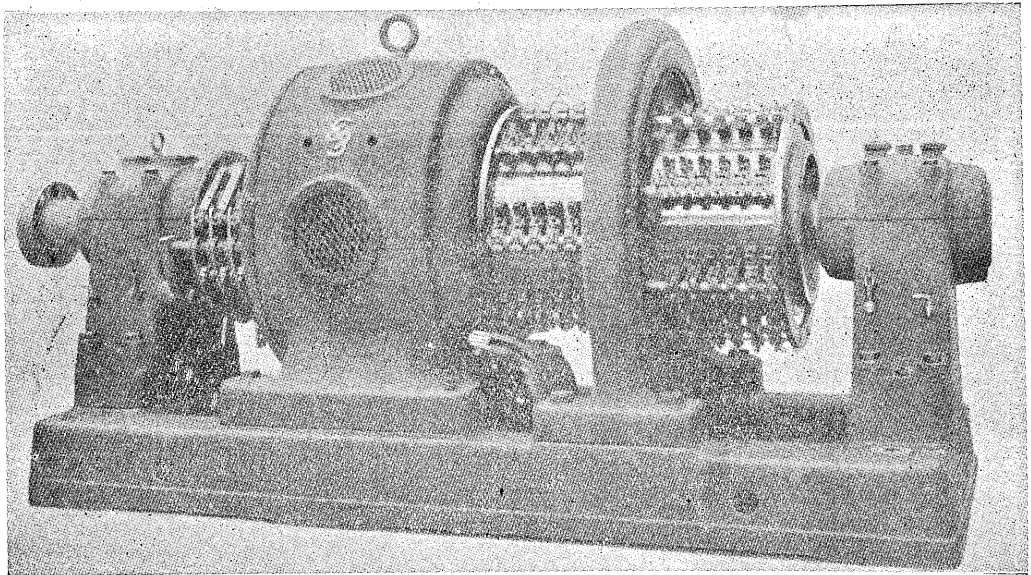
籠型捲線は別個の金屬端環を備へてもよく或は又籠型導體は鐵心層によつて閉鎖せしめることも出来る。

此處に述べる装置の簡単な實施例は金屬製溝隙を籠型導體として使用するのにある。そ

の様な場合には凡ての溝又は溝の一部に金屬製の楔を備へるそして此の溝楔は籠型導體に與へやうとする抵抗の大いさによつて或は鐵又は眞鍮若くは其他の金屬で作る。又籠型捲線の抵抗を調整する爲に籠型導體又は溝楔を種々の異つた材料で合成し例へば溝に交互に鐵楔及び直鍮楔を備へ又は溝楔を其の長さに沿ふて區分して種々の異つた材料で合成することが出来る。籠型捲線の抵抗を適當にする時は整流子電機の性質を害せない様に補償することが出来従つて直捲電動機は凡ての負荷状態に於て其の直捲の性質を持続することが出来る。此の様な場合に於ては尙ほ抵抗を適當に選定することによつて直捲電動機の無負荷回轉數をして平常の負荷に於けると餘り違はない様に制限する特別の作用を達成することも出来る。然る時は決して廻り過ぎることなく其の最大回轉速度は籠導體の材料を適當に擇ぶことによつて任意に決定することが出来る。

上に述べた装置によれば從來必ず必要とした最高速度限定の爲に遠心力應用安全開閉器を使用することを要しないで同期附近の任意の動作範圍内に於て電機を使用することが出来る。(日本特許第六〇一九〇號)

力 率 の 改 良



輕負荷及無負荷の際の力率改良に使はれるシーメンス製 5000V,
593回轉,2000KV 三相交流電動機直結用他勵磁、三相勵磁機



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。